



CSTIPS-News

九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター ニュースレター

No.13 Aug. 2016

STI政策専修コース—3年間を振り返って、 3年間ののべ受講者数189人、コース修了者17人を輩出

科学技術イノベーション(STI)政策専修コースは、平成28年4月で開講4年目を迎え、3年間ののべ人数合計で189人(実数の合計で107人)の受講者を迎えることができました。以下の表1に示すように毎年受講者数を増やしています。社会人の科目等履修生も、初年度6人、2年目に7人、3年目に11人と毎年受講者数を増やしています。表1に科目別の受講者数、表2に学府別の受講者数の推移を示します。

STI政策専修コースは、4科目8単位を履修修得した学生には「STI政策専修コース修了証」を授与していますが、この4月に新たに6人(内4人が社会人の科目等履修生)の受講者が修了証を授与されました。この結果、初年度の25年度からの修了者数は合計で17人となりました。次頁に、この4月に修了を果たした4人の受講者の感想を掲載します。

表1 科目別のべ受講者数

科目名		25年度(人) のべ受講者数	26年度(人) のべ受講者数	27年度(人) のべ受講者数
コア科目	STI政策概論	7	12	11
	イノベーションシステムの比較制度分析	6	3	3
	STI政策分析	4	8	13
	STI政策立案演習	4	4	1
	科学技術社会論概説	9	7	7
固有科目	環境エネルギー政策Ⅰ	7	7	10
	環境エネルギー政策Ⅱ	1	3	7
	地域イノベーション政策特論	8	6	5
	東アジアのSTI政策	5	3	9
	地域サステナビリティ	未開講	9	10
合計		51	62	76

表2 学府別受講者数

学府名	25年度(人)	26年度(人)	27年度(人)
経済学府	7	9	11
芸術工学府	2	2	0
工学府	2	1	3
生物資源環境科学府	5	8	10
人間環境科学府	0	0	1
総合理工学府	4	2	0
地球社会統合科学府	1	1	1
理学府	3	2	3
統合新領域学府	6	7	12 [※]
医学系学府	0	1	2
人文科学府	0	1	0
合計	30	34	43

※内11人が科目等履修生

受講者の感想



統合新領域学府
科目等履修生
辻 潔氏

私が科学技術イノベーション政策専修コースで、学ぼうと決意した理由は我々が生活する都市が、将来も幸せな暮らしを保障してくれるために個人として何をしたらいいのか、その答えを見つけ出すためです。そして講義の中でも「地域サステナビリティ」や「地域イノベーション政策特論」が私個人として興味がある分野でした。

さらに、最初不安だった社会人学生としての生活面についても、講義が平日は18:50から、また土曜日もあるので問題はなかったです。そして、個人的な目標もでき、将来正規の大学院博士課程前期、後期ができましたら、地方都市のサステナブルな発展過程に関する調査、研究的アプローチを、学術的なかたちにできたらと思い、ぜひ博士論文にまとめたいとひそかに思っています。

また、コース修了後の現在も、社会人院生2年目としてさらに講義を受講しています。本当に素晴らしい環境のもと、充実しています。

最後になりましたが、当コースを修了できたのは小林先生を始め、STI政策教育研究センターの多くの方々のお陰です。ここに御礼申し上げます。



統合新領域学府
科目等履修生
曽根 好則氏

偶然に、博多駅の掲示板で本学のSTI政策専修コースを拝見し、平成26年4月から2年間共通教育科目(4科目)を社会人として学ばせて頂きました。

同コースには才知をもたれている方々等も履修されており、日常の同僚(建設コンサルタント関係)とは一味も二味も異なり、ある面新鮮な感触を受けました。また、先生方ももちろん高学者であられ、それぞれの科目で年齢に関係なく、多岐多様な捉え方と研鑽の必要性を学ばせて頂きました。

私は、才能と知恵の継承は、生来の性質が占め、その後を左右する部分が多いと考えます。しかし、その後の半生はある範囲においては、積極的な学欲と努力で改善できるかと、いま感じております。

今後、学域で学ぶことはありませんが、向学の心は維持し、本学が開催するセミナー等の糸はつないでおきたいと思っています。

ありがとうございました。



統合新領域学府
科目等履修生
猪口 正弘氏

パスワードとして「イノベーション」という言葉を様々な場所で耳にするようになりました。

しかし、その多くが本質的な意味を捉えられずに安易に乱用されているようにも感じていました。とはいえ、私自身もその本質が何なのか理解できていなかったのも事実です。そんな自分にとって、そもそもイノベーションとは何なのか、その定義から過去の事例・プロセスなどの基礎知識に加えて、政策的観点についても学べる当コースはとても魅力的でした。

基礎から分析まで体系的にカリキュラムが組んであるため、理解もしやすく、レポートの作成にあたっては、エビデンスの重要性や、ビッグデータ時代に再び脚光を浴びている統計学の基礎も学べました。

STIコースの先生方や多くの各専門分野の外部講師の方の講義は毎回新たな学びがありました。当コースで学んだ事は職務でも活用していきたいと思えます。



理学府
地球惑星科学専攻 修士2年
城谷 一真氏

STI政策専修コースを履修して、自分にとって新しい多くのことを学ぶことができました。

私は理学府に所属しているのですが、今まで大学の講義などではあまり関わりのなかった、政策や経済に関しての知識を得ることができたと思います。

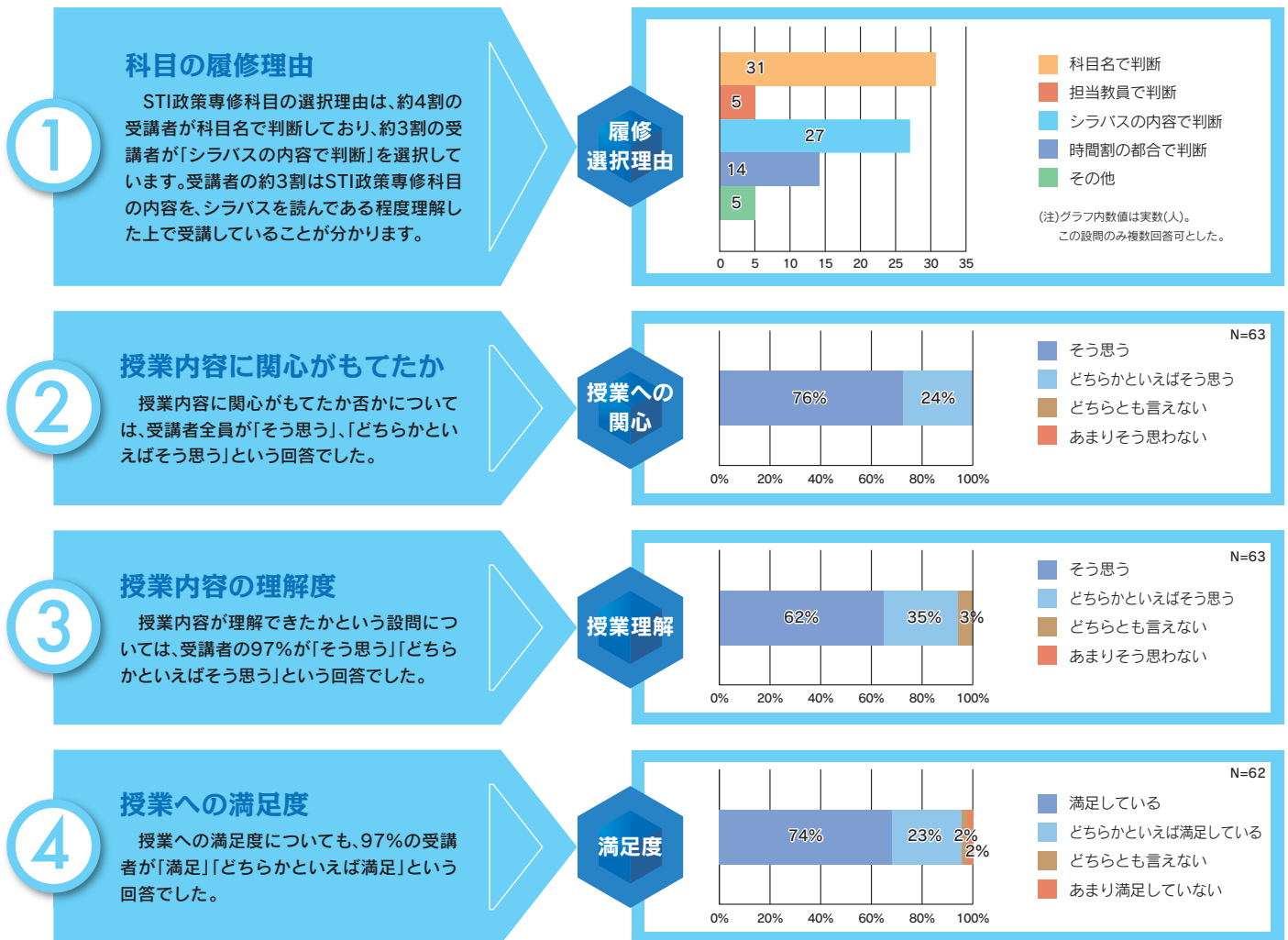
それもあって、STI政策専修コースの授業の内容のほとんどは自分にとって未知の分野であったため少し大変さもありました。しかし、外部からの講師の方の講義も含め、毎回いろいろな話を聞くことができ、毎回楽しんで受講していました。

私が本コースを履修しようと思ったきっかけは自分の専攻分野と政策や経済との関わりや、サイエンスコミュニケーションへの漠然とですが興味を持っていたからでした。講義を通してそれらに関しての知識や考えも深まり、多くの事への興味が広がったと感じています。

STI政策専修コースを通して学んだことを、今後の大学での研究やこれからの仕事で活かしていきたいです。ありがとうございました。

平成27年度 STI政策専修コース授業評価アンケート集計結果

STI政策専修コースでは、各学期終了時に全10科目で授業評価アンケートを実施しています。平成26年度と同じく平成27年度の前学期・後学期に実施したアンケート結果から、①科目の履修理由、②授業内容の関心度、③授業内容の理解度、④授業への満足度の4点の結果を御紹介いたします。回答者総数は63人です。



平成27年度 STI 政策専修コース・科学技術社会論概説 STS ステートメント・サイエンスカフェ 開催

総合司会 小林俊哉 九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター准教授

STSステートメント「都市木造の可能性」 辻 潔 / 統合新領域学府 「薬剤師よ!もっと、在宅生活に目を向けよ!」 花田 稔 / 医学系学府
「宇宙天気と社会」 城谷 一真 / 理学府

3月19日(土)、BIZCOLI交流ラウンジ(電気ビル共創館3F)にて、「平成27年度STI政策専修コース・科学技術社会論概説STSステートメント・サイエンスカフェ」が開催され、受講修了生(社会人学生及び大学院生)によるSTSステートメントの発表が行われました。

学生をはじめ会社員や自営業などの一般参加者及び関係者**18名**が参加し、各発表に熱心に耳を傾けている様子が見られました。

社会人学生である辻氏と花田氏は、実社会で仕事として携わっている専門分野において、大学院生である城谷氏は、現在研究している専門分野において、科学技術がいかに今後の社会にメリット・デメリットをもたらすかという視点から、それぞれの課題について発表しました。

各発表について参加者から、社会における課題解決や環境改善のための影響を問う観点から様々な質問や意見があげられ、活発なディスカッションが行われました。

参加者のアンケートから、科学技術そのものへの関心が高く、それぞれ具体的に関心を寄せている分野があること、サイエンスカフェというイベントに興味を持って参加していることなどがわかりました。実際に参加した感想として、「話題提供された内容への関心が高まった」「九大生の話題提供者や他の参加者との議論が有意義だと思った」「イベントの開催自体が有意義だと思った」という好評価の回答が多く見られました。また、より分かりやすく説得力のあるプレゼンテーションの工夫を提案する意見も寄せられました。

サイエンスカフェは回を重ねるたびに参加者が増え、有意義な科学技術コミュニケーションの場となっていることがうかがえました。



小林俊哉准教授が平成27年度第3回全学FDにて講演

2015年11月9日、九州大学では、平成27年度第3回全学FDが開催されました。

本学では、教育の質の向上と発展のために大学全体でFD (Faculty Development:教育改善活動)を推進しています。今回のFDでは、「大学全体で行う自殺防止対策の実践」をテーマに教職員向けに自殺防止メンタルヘルス研修会として実施されました。小林俊哉准教授が講師として登壇し、「地域・職域・学校・家庭における自殺防止対策とゲートキーパー養成-富山県の事例」というタイトルの講演を行いました。



平成28年度 CSTIPSアドバイザー委員会を開催しました



平成28年8月4日に、伊都キャンパス共進化社会システムイノベーション施設3階のセミナールームにて第2回のCSTIPSアドバイザー委員会を開催しました。本アドバイザー委員会は昨27年度に発足し、今年で第2回目の開催となります。本年は、平成27年度のCSTIPSにおける教育・研究の取り組み内容が、永田センター長から報告されました。

特に、昨年度から懸案の新専攻設置の課題、アジアフォーカスに関連する基盤的研究の推進について、他拠点を含む外部機関との連携の拡充についてといった3つの論点を中心に活発なディスカッションが行われました。

お知らせ

- ・ APIC(The 7th Asia-Pacific Innovation conference)国際シンポジウムを平成28年11月18日～20日にアクロス福岡と伊都キャンパスで開催いたします。
- ・ 「地域科学技術政策イノベーション政策レビュー」(地域科学技術イノベーション政策基本調査レポートを改題)第6号を発刊しました。ご希望の方は下記の本センター連絡先までご連絡下さい。

編集後記



日中はまだまだ暑い日が続きますが、いかがおすごでしょうか。さて、今号では4月で4年目に突入したSTI政策専修コースのこれまでの振り返るとともに、昨年度コースを修了された受講生の感想や授業に対するアンケート結果など掲載しております。本コースは九州大学大学院生だけでなく、多くの社会人の方が受講されています。ご興味、ご感心をお持ちの方は、お気軽にメールやCSTIPSホームページのフォームからお問い合わせください。

真藤 正人

ご案内:本ニュースレターの送付先変更は以下までご連絡下さい。

九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター 事務局
TEL : 092-802-6650 FAX : 092-802-6654 E-mail : office@sti.kyushu-u.ac.jp

URL <http://www.sti.kyushu-u.ac.jp/>

発行 九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 共進化社会システムイノベーション施設 3F
TEL : 092-802-6650 FAX : 092-802-6654 E-mail : office@sti.kyushu-u.ac.jp